

## 東南アジア・台湾輸出入コンテナ助成制度における助成対象の考え方

本助成制度では4種類の単価を設定しており、複数の単価のコンテナが混在する場合に、どの単価を適用するかについて、事例を挙げて説明いたします。各コンテナの単価は以下のとおりです。

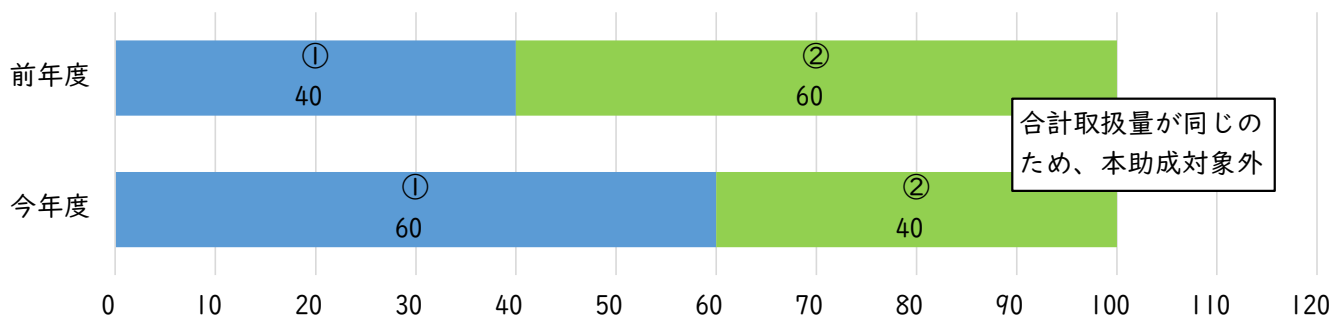
① 通常・特殊コンテナ	： ITEUにつき20,000円
② 冷蔵・冷凍コンテナ	： ITEUにつき25,000円
③ 国際フィーダー利用の通常・特殊コンテナ	： ITEUにつき22,000円
④ 国際フィーダー利用の冷蔵・冷凍コンテナ	： ITEUにつき27,000円

取扱量の積算においては輸出と輸入の区別はなく、対象地域全体でのコンテナ取扱量の輸出入合計とします。

### <A 社事例>

単価の異なる複数のコンテナ取扱があり、同じ単価のコンテナ取扱量だけを比較すれば、前年度から増加している。

単位：[TEU]	①	②	③	④	合計
前年度	40	60			100
今年度	60	40			100



(解説)

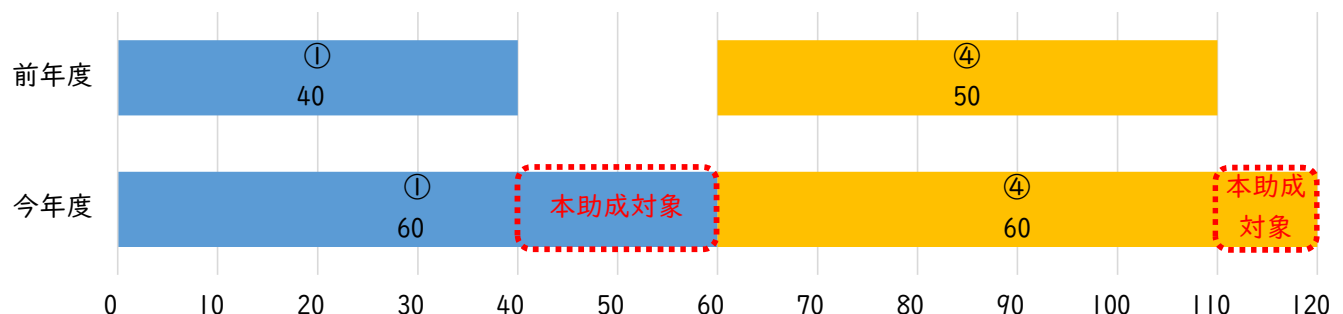
同じ単価のコンテナだけ取り出して前年度と比較して取扱量が増加していても、当該地域全体での取扱量が増加していなければ、本助成対象とはなりません。

交付額： なし

### <B 社事例>

単価の異なる複数のコンテナ取扱があり、それぞれ前年度と比較した取扱量が全て増加している。

単位：[TEU]	①	②	③	④	合計
前年度	40			50	90
今年度	60			60	120



(解説)

全体のコンテナ取扱量が増加しており、各単価の対象コンテナ増加量に対して、それぞれの単価を適用します。

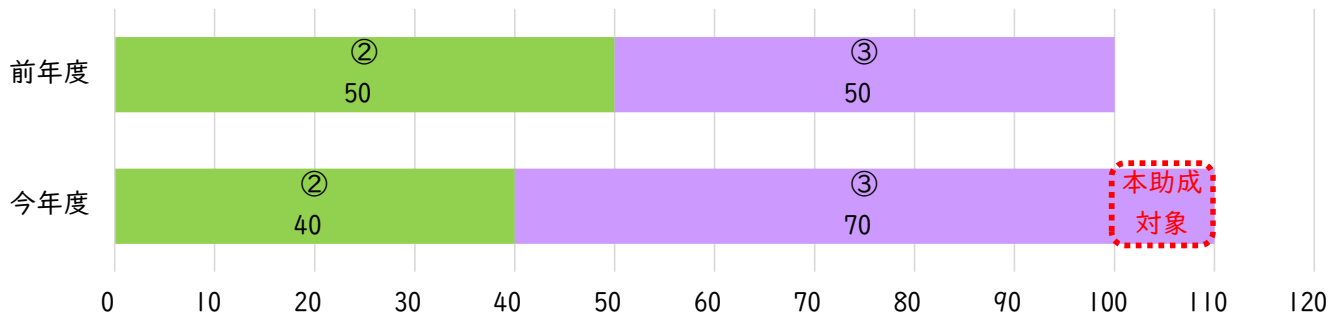
交付額：  $(60[\text{TEU}] - 40[\text{TEU}]) \times 20,000[\text{円/TEU}] = 400,000[\text{円}]$   
 $(60[\text{TEU}] - 50[\text{TEU}]) \times 27,000[\text{円/TEU}] = 270,000[\text{円}]$

$\Rightarrow 670,000[\text{円}]$

### <C社事例>

単価の異なる複数のコンテナ取扱があり、それぞれ前年度と比較した取扱量の増減が混在している。

単位：[TEU]	①	②	③	④	合計
前年度		50	50		100
今年度		40	70		110



(解説)

全体のコンテナ取扱量が増加しており、増加分から減少分を引き、増加したケースの単価を適用します。

$$\text{交付額} : \{(70[\text{TEU}] - 50[\text{TEU}]) + (40[\text{TEU}] - 50[\text{TEU}])\} * 22,000[\text{円/TEU}] = 220,000[\text{円}]$$

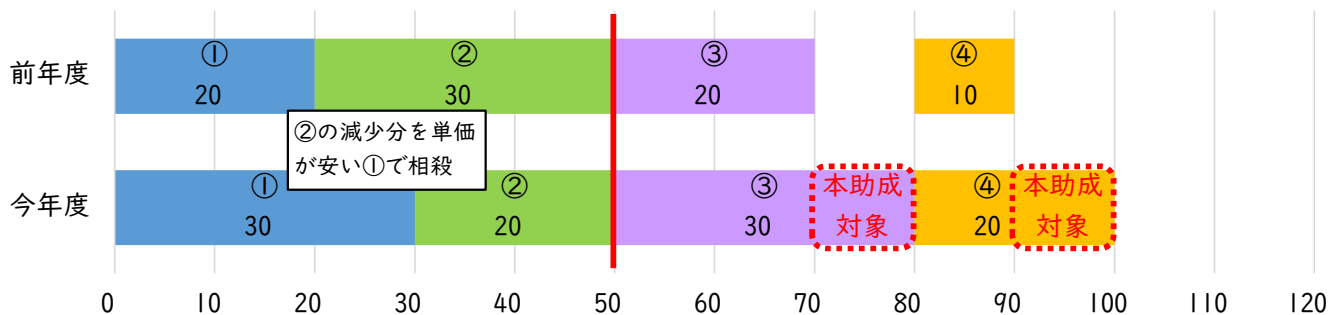
$$\Rightarrow 220,000[\text{円}]$$

### <D社事例ーⅠ>

単価の異なる複数のコンテナ取扱があり、それぞれ前年度と比較した取扱量の増減が混在している。

(取扱量が増加したコンテナ単価が複数ある。)

単位：[TEU]	①	②	③	④	合計
前年度	20	30	20	10	80
今年度	30	20	30	20	100



(解説)

申請者が有利になる（多くの交付金が貰える）ように、単価を適用します。

$$\text{交付額} : \{(30[\text{TEU}] - 20[\text{TEU}]) + (20[\text{TEU}] - 30[\text{TEU}])\} * 20,000[\text{円/TEU}] = 0[\text{円}]$$

$$(30[\text{TEU}] - 20[\text{TEU}]) * 22,000[\text{円/TEU}] = 220,000[\text{円}]$$

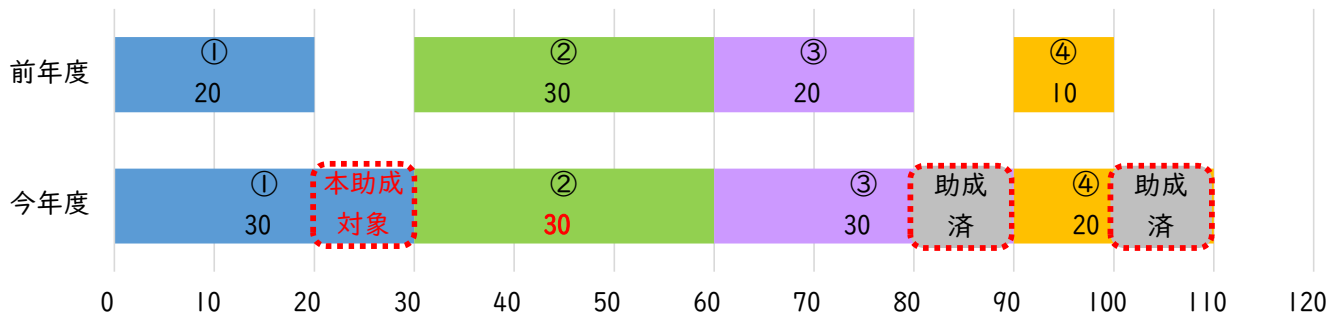
$$(20[\text{TEU}] - 10[\text{TEU}]) * 27,000[\text{円/TEU}] = 270,000[\text{円}]$$

$$\Rightarrow 490,000[\text{円}]$$

<D社事例ー 2>

<D社事例ー 1>の申請のあと（翌月以降の別月）、②の取扱量を増やした。

単位：[TEU]	①	②	③	④	合計
前年度	20	30	20	10	80
今年度	30	30	30	20	110



(解説)

まだ助成対象となっていないコンテナを対象として、その単価を適用します。

このときも、上記同様に申請者が有利になる（多くの交付金が貰える）方から、対象を決定します。

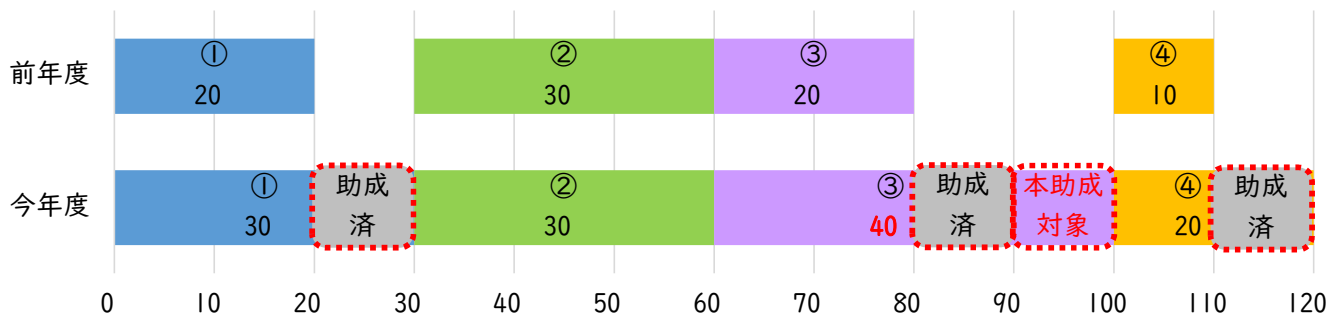
交付額：  $(30[\text{TEU}] - 20[\text{TEU}]) * 20,000[\text{円/TEU}] = 200,000[\text{円}]$

$\Rightarrow 200,000[\text{円}]$

<D社事例ー 3>

<D社事例ー 2>の申請のあと（更に翌月以降の別月）、更に③の取扱量を増やした。

単位：[TEU]	①	②	③	④	合計
前年度	20	30	20	10	80
今年度	30	30	40	20	120



(解説)

まだ助成対象となっていない、更に増加した分のコンテナを対象として、その単価を適用します。

交付額：  $\{(40[\text{TEU}] - 20[\text{TEU}]) - 10[\text{TEU}]\} * 22,000[\text{円/TEU}] = 220,000[\text{円}]$

$\Rightarrow 220,000[\text{円}]$